

ひとと地域をつなぐ広報紙

もいたねっと

第37号
平成29年8月31日
発行

人口と世帯 人口 13,650人 [+653] (男 6,582人 [+294]/女 7,068人 [+359])
世帯 4,882戸 [+342] 平成29年8月1日現在(前年比)



ジュニアリーダー・プチドラゴン・ミニドラゴン合同 宿泊学習 in 勝山北谷 東山いこいの森 8月19・20日

ジュニアリーダーの企画した活動プログラムに沿って、1日目は自然の中でゲームなどで汗を流しました。また、夕食に班別で作ったオムライス・冷やし中華・カレーの味は格別でした。2日目はミニドラゴンも合流し、流し素麺やスイカ割りをしました。活動の中で協力し助け合い、さまざまな学びがあり、仲間との絆を深めた宿泊学習でした。

<ジュニアリーダー(中学生)、プチドラゴン(小学5・6年生)、ミニドラゴン(小学3・4年生)>



もりたびと 森田を^{もりの}あげる人たち



墓石洗濯師 清石 高見 義裕さん



私は上森田の自宅を拠点に、お墓の清掃専門「墓石洗濯師 清石」を営業しています。「古くなり、建て替えや移転を検討しなければ…」という方や、「納骨に合わせて一度綺麗にしたい」という方に向けて、リーズナブルなお墓のリフレッシュをご提案させていただいております。

私が結婚し、森田地区に引っ越してきたのは、まだ5年前のことです。その時から変わらず、「福井で一番活きた住宅街」というのが、私の森田地区の印象です。新しい家がどんどん立ち並び、外から入ってくる人が多く、子どもたちもどんどん増え、我が子を希望の保育園に入れるのも一苦労。地方の人口減少という現実とは正反対の、住宅街として目覚ましい

発展を遂げているのが肌で感じられます。一方で、歴史が残る姿も随所に見られます。長年住み続けている方の声を聞くと、思えば深く、住み良い町なのだという気持ちも自然と伝わってきます。

私は、地域の皆さまに楽しかった思い出を、また振り返っていただきたいという思いで、お墓のお洗濯という仕事を始めました。

私自身、約10年前までは、幸いなことに新しい人の死というものに逢うことがなかったのですが、祖父の死を皮切りに、シヨッキングな別れが続く時期がありました。その時の体験から、亡くなった大切な人達に対して「今から恩返しできることはないか」と考えるようになった。

お客様の声で特に多いのが、「お墓に彫ってある文字が読みやすくなったこと、お墓に入っている人たちの名前、没年齢、命日などを振り返ることができた」というお話です。「亡くなったのはあんな日だった」「あの人が〇〇歳の時にこんなことがあった」「〇〇さんはこんな人だった」など、それまで遠い記憶にあった思い出が一気に蘇り、涙ながらに語ってくださいる様子を見てみると、この仕事をやっていてよかったと心から感じます。

過去を振り返るとい体験が、記録の読み上げだけにとどまらず、皆さまの明日への活力になればと思います。

もりのわフェスタ



～テーマはエコ～

昼の部 <10時～16時>

子どもたちが楽しめる遊びコーナーなど

夜の部 <17時～20時>

ディキシーランド・ジャズの生演奏など

9.23(土) 森田配水塔マイアクアで開催

マルシェ：食べ物やエコクラフトなどのお店が並ぶ。夜は、カクテルなどお酒も販売

シャルソン：10時半からJR森田駅をスタートし、ゴールのマイアクアまでいろんな店や史跡を巡る

エコキャンドル：5,000個のキャンドルと、子どもたちが作った行灯が会場を幻想的に飾る

☆詳細は、9月上旬に全戸配布されるチラシを参照してください。



熱く燃えた大人たち! 福井市民体育大会

6月10日から1ヶ月余りにわたり、32競技に325人が参加。なんと団体では優勝が3つ、準優勝が1つ、3位が2つと素晴らしい結果となりました。

なかでも、軟式野球チームは一丸となって暑い中長時間の試合を勝ち進み、十数年ぶりに優勝しました。

▲軟式野球 優勝



▲インディアカ 男子の部 優勝



▲ボウリング 女子の部 優勝



▲グラウンドゴルフ 女子の部 準優勝

☆各競技は来年に向けてメンバーを募集中です。楽しんで参加してみましょう。

熱く燃えた子どもたち! 第42回育成会夏季大会 8月6日

最高気温37℃という猛暑の中、順延となっていた大会が開催されました。開会式では緊張した子どもたちの顔も、試合が始まると凛々しい表情となり、練習の成果、気合、根性を互いにぶつけ合いました。各試合は大熱戦となり、大きな声援がベンチや応援席から発せられていました。試合後には嬉し涙や悔し涙を流す子どもたち。握手を交す姿も見られ、森田っ子の友情の絆はさらに深まり、とても熱い(暑い)大会となりました。



おめでとう 春の緑綬褒章受章

永年にわたる団体の社会奉仕活動が認められたことは、大変光栄であり先輩の方、そして会員の皆様にご感謝しております。

また、「お祝いの会」を社会福祉協議会が開催してくださり、多くの方からお祝いの言葉をいただきありがとうございました。

受章の喜びと共に、これからも笑顔で、「共助の輪」を少しずつ広げていけたらと思っております。

さざなみ会 代表 白川せつ子



ボランティアグループ さざなみ会(1981年結成)

Do It Yourself♪ DIY講座



家庭や地域に役立つ人材育成学習として、新しくスタートしました。家庭内のものづくりや修繕を自分たちの手でやろうと、6月に「網戸の張替え」7月に「襖の張替え」を学びました。今までうまく行かなかったことの解決方法や、美しく仕上げるコツなども知ることができて、講座生のなかにはさっそく自宅実践した人もいます。

今後は「障子の張替え、クロスや壁の補修、木工品づくり」にも挑戦しようとはりきっています。

いざ!!!! 炊き出し訓練 vol.3 公民館食堂

今年の防災訓練では、大釜を使った炊き出し訓練を、近隣の防災会メンバーも加わり行いました。

公民館食堂には、男女の会員がいるので「男性の力と、女性のきめ細かい対応」など協力が必要だと感じ進めました。

米の量、設置場所、参加者の人数が違っているにも関わらず、今年は一層美味しく無駄なく上手に炊きあがりました。握り方は、「やさしくちょっとおしゃれに!」でも、本当の災害の時は「いつでも誰でも出来るように」が必須条件!やはり、毎年行うことが大事だと痛感しました。

大釜は、各地区の防災会にも貸し出します。お問い合わせは公民館(☎56-0195)へ。

